

大豆食品で

育成サポート

太子食品と八学大
女子ラグビー部連携

八戸学院大女子ラグビー部(吉田稔部長)と、三戸町の太子食品工業(工藤茂雄社長)は7日、健康的なアスリートの育成を目指す連携協定を締結した。同社が部員に豆腐や納豆などの大豆食品を毎日提供し、選手の育成をサポートするほか、同部も選手の栄養管理に努める。

この日、同大で開かれた調印式では、同部の工藤祐

太郎監督と、工藤社長が文書にサインをした。

工藤監督は「選手に多くのタンパク質を取ってもらうことができるため、感謝している」、工藤社長は「大豆に多く含まれるイソフラボンは、健康面などで選手の役に立つと思う」とそれぞれ連携を確認した。

式には部員8人も参加し、2年の鈴木佳寿音主将(19)は「支援は本当にありがたい。大豆食品を通して良い体をつくり、大会で良い結果を残したい」と話した。

(佐藤雄)